

令和4年度

# これからの青年会に贈るメッセージ

1. 「卒会者の皆さまへ」 全国青年会 会長 梅野 高明

## 2. 「これからの青年会に贈るメッセージ」

本荘久寿会 (秋田県)	児玉 俊 氏	あいのわ福祉会 (東京都)	市原 純哉 氏
喜寿福祉会 (神奈川県)	田代 鉄也 氏	吉田福祉会 (新潟県)	木村 貴明 氏
慈豊会 (福井県)	田中 淳 氏	豊寿会 (岐阜県)	瀬瀬 正浩 氏
福寿園 (愛知県)	古田 周作 氏	治栄会 (大阪府)	大森 秀之 氏
東方会 (佐賀県)	福地 峰雄 氏		

## 「卒会者の皆さまへ」

全国社会福祉法人経営青年会 会長  
社会福祉法人 勝原福祉会 (兵庫県) 梅野 高明



本年3月末をもって、117名の方々が50歳という節目を迎えられ、本会をご卒会される運びとなりました。改めてご卒会される先輩諸兄姉に対し、賛辞を述べるとともに、これまでのご活躍およびご理解、ご協力を賜りましたことに心より感謝申し上げます。

本年度も、新型コロナウイルスの猛威の中、ウクライナ侵攻による世界規模の社会混乱が起きました。社会福祉法人においても、引き続き新型コロナへの対応、物価高騰への対応、未曾有の出生数減への対応などに奔走した1年となったのではないのでしょうか。改めて、全国青年会は国民・社会の生活を支えることを担っている立場として、時代の変化を認識し、利用者をはじめ我々に関わる全ての方々の生活・生命のために邁進していかなければならないと活動を推し進めてきました。ご卒会される皆様におかれましては、議論のみならず行動を通して本会と会員に対して多大なるご指導をいただきましたこと、心強く思いました。感謝の言葉しかございません。

ご卒会されても経営協等の場でお声掛けいただきますとともに、我々の運動・活動に対し、ご指導ご鞭撻をいただければと存じます。

最後になりますが、皆さま方におかれましては、今後、法人経営に邁進されるとともに、地域福祉の発展に尽力されますことを心よりご祈念申し上げます。

## 「良き青年会活動を振り返り」

社会福祉法人 本荘久寿会（秋田県）  
児玉 俊 氏



素晴らしい志を持った多くの皆さんと出会えたことが一番の思い出です。ここ数年はコロナにより活動範囲が限られていましたが、青年会のおかげで、仕事に対し前向きに取り組むこともできました。その出会いや情報交換により何度も助けられました。

これからは時間をいかに豊かに使えるか、前向きに考え豊かに生きるための方法を、法人として個人としてどのように捉えていくかがとても重要になります。そんなときに、わたくしたちの青年会は、とても大きな存在で、個々の支援や施設援助にも一役する組織であると思っています。

今後も幅広く皆さんに青年会の活動を知っていただき、一人でも多くの仲間が青年会に入会し活動できればと願っています。応援しています。ありがとうございました。

## 「つながる事とつなぐ事」



社会福祉法人 あいのわ福祉会（東京都）  
市原 純哉 氏

青年会卒会にあたり、お世話になりました皆さまには感謝を申し上げます。会員になったと同時に幹事役員を仰せつかり、右も左もわからないスタートだったと記憶しております。そこから約15年、本当に様々な方たちとの出会いがありました。自法人だけの業務では決して出会う事も無かったたくさんの方たち、そして何よりもそこから受けた刺激と衝撃はその後の自分のスキルとなりパワーとなりました。

皆さまと出会う（つながる）事で知識も人脈も広がり、それをまたつなぐ事でさらに広がる。志を同じくした仲間たちとの最高の時間を過ごせるのも青年会だったと思っています。新たな時代に期待しつつ、青年会の更なるご発展を祈念申し上げます。

## 「皆様との出会いに感謝」

社会福祉法人 喜寿福社会（神奈川県）  
田代 鉄也 氏



卒会にあたり、これまでお世話になったすべての方々に御礼申し上げます。  
高齢者福祉施設を創設し、その後保育、障害と事業を拡大していく中で、皆様からいただいた叱咤激励のおかげで、現在も法人経営ができていますと深く感じております。このようなすばらしい仲間と出会うことができたことは、何よりも自分の成長の糧となっております。

地域共生社会の実現にあたり、求められる役割や解決すべき課題が山積されている社会福祉法人経営ですが、これからも皆様からの教えを胸に、わずかな光でも見逃すことなく実現に向けて進んでいきたいと考えております。全国青年会のますますの発展を祈念いたします。

## 「素晴らしい出会いに」

社会福祉法人 吉田福社会（新潟県）  
木村 貴明 氏



卒会にあたり、諸先輩方や会員の皆様、事務局の皆様方に大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

平成27年に入会して8年間、新潟県会長として4年間、青年会の諸活動に関わる中で、自分自身の視野が広がり、新しい発見や学びを得ることができました。とても有意義な時間であったと感じており、青年会での活動と出会いは私の中で一生の財産となると思います。

青年会は、素晴らしい出会いと学びの場です。これからの活動を通じて、皆さんが新しい友人や同志を作り、自分自身を高め成長していかれることを心より願っています。

## 「貴重な学びに感謝」

社会福祉法人 慈豊会（福井県）  
田中 淳 氏



全国青年会を卒会するにあたり、会員の皆様にお世話になりましたこと、心より感謝申し上げます。私は2004年福岡での全国大会への参加を機会に全国青年会へ入会させていただきました。当時、地元では全国会員は少ない状況であったため全国の研修会等へ参加させていただき、全国会員の皆様から様々な情報や考え方など貴重な学びをいただいたことに改めて感謝の念が尽きません。この三年間はコロナ禍で集まることが難しい環境でしたが、WEB委員会や研修会など活動を通して他法人が取り組んでいる様々な実践内容を自法人でも学びとさせていただきました。

このように私自身や自法人への学びの機会をいただけたことに感謝申し上げます。今後の皆様のご活躍と全国青年会の益々のご発展をご祈念申し上げます。

## 「心通う出合いに感謝！」

社会福祉法人 豊寿会（岐阜県）  
瀬瀬 正浩 氏



卒会にあたり、入会以来温かくご指導いただいた地元、ブロック、全国の諸先輩、会員、そして事務局の皆様には厚く御礼申し上げます。会員という通行パスのみでこれほどまでに垣根なく受入れ、時に叱咤激励いただいたこの青年会という組織は私の社会人経験の中でも極めて稀有な会でした。

振り返れば地元大先輩からの熱い指導、そしてラスト4年間は全国委員としての活動など、いずれも大いに刺激を受けた経験ばかりで、こうした仲間とのご縁は私の一生の財産となりました。

どうか皆さん、積極的にご参画ください。青年会のフタをどんどん開けてみてください。きっと素晴らしい発見とご縁があるはずです。会員皆様のご活躍と本会の益々の発展を祈念申し上げます。

## 「思い出がいっぱい」

社会福祉法人 福寿園（愛知県）  
古田 周作 氏



長かった青年会もいよいよ卒会です。たくさんある思い出の中から3つピックアップしたいと思います。1つ目は、海外研修でアメリカに行ったことです。酔った勢いで青年こそ海外に行って視野を広げましょうと当時の廣江会長らと盛り上がったことが現実になりました。2つ目は、梅野会長の時に会員拡大・研修委員長に任命され、会員数3000人を目標に活動し、それなりの成果を上げ、勢いのついた2年目にまさかのコロナで中断。ZOOM等手探りで始めました。3つ目は、愛知県で開催した全国大会です。過去最多の参加者に名古屋に来ていただき、県青年会の仲間とともに大会を成功させることができました。

これから活躍される皆さん、いろんな経験ができるのが青年会です。新しい青年会の歴史を作っていくてください。最後に、関わったすべての方々に感謝いたします。本当にありがとうございました。

## 「青年会への感謝」

社会福祉法人 治栄会（大阪府）  
大森 秀之 氏



全国青年会を卒会するにあたり、お世話になりました諸先輩ならびに会員の皆さま、事務局の皆さま方に感謝申し上げます。

病院勤務が中心だった私は、医師になった年から特養の管理者などをしてきたため、福祉には関わっていましたが、しかし、実際のところ福祉の現場での皆さまの思いや業務を理解せず医師として携わっていたなど今では汗顔の至りです。

福祉の現場に直接関わる段階になり、これではいけないと青年会の研修を受けるようになり、全国青年会に関わらせていただき、皆さまに福祉だけではなく、人生で本当に大事なことを教わったと感謝しています。

今までいただいた縁を胸に、今後の皆さまのご活躍をご祈念いたします。

## 「行雲流水」

社会福祉法人 東方会（佐賀県）  
福地 峰雄 氏



禅寺では、修行僧を雲水と言います。雲が行き、水が流れるままに、様々なご縁をいただいて、自己を見つめ鍛錬を繰り返す。今振り返れば、青年会の活動は、まさに修行の場であったと感じます。（勿論、苦行ではなく、楽しい修行の場でしたが。）

ただ、2008年に青年会に入会した時には、青年会が修行の場とは感じていませんでした。時が経ち、委員会等に参加することが多くなっていく度に、全国に顔見知りが増え、多くの尊敬する先輩と出会いました。その先輩方は、禅僧のように、直接言葉で教えを授けてくれることは少なく、その姿、立ち居振る舞いで、私たちが進むべき道を照らしてくれました。その姿に憧れ、仲間と協力し研鑽を積んでいく。まさに、禅寺での修行のように。

今、有意義だった15年間の修行を終えます。ご縁をいただいたすべての皆様に感謝の気持ちと出会えたことの喜びを心いっぱい。「ばんざ〜い！」

---

令和5年3月31日

全国社会福祉法人経営青年会

---